

2.11.2. 教員業績概要

職名： 教授	氏名： 阿部 昭博
--------	-----------

[教育活動]

(a) 学部担当授業科目

ソフトウェア情報学総論，情報システム構築学，応用情報システム学，学の世界入門，プロジェクト演習Ⅰ/Ⅱ，ソフトウェア演習 A/B/C，情報システム演習 A/B/C，情報システムゼミ A/B，卒業研究・制作 A/B

(b) 研究科担当授業科目

情報システム企画・設計特論，ソフトウェア情報学ゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ，ソフトウェア情報学研究

(c) その他（教育内容・方法の工夫，作成した教材など）

「応用情報システム学」「情報システム企画設計特論」開講時に，企業や団体等の外部有識者を招聘し特別講義を実施した。

[研究活動]

(a) 著書

- 1) 情報システムと社会環境研究会編：IS デジタル辞典～重要用語の基礎知識～，情報処理学会，編集幹事並びに「コミュニティ支援システム」他 5 項目の執筆担当，2012. 4.

(b) 査読ありの論文誌に掲載された論文

- 1) 窪田 諭，曾我和哉，佐々木雄喜，三浦友美，滝澤寛之，佐々木敬志，阿部昭博：住民参加型 GIS としての地域 SNS の開発と運用評価，地理情報システム学会論文集「GIS－理論と応用」，Vol. 20, No. 2, pp. 35-46, 2012. 12.

(c) (b) 以外の査読付き成果（論文誌ではない学術論文，国際会議プロシーディング，ワークショップ等）

該当なし

(d) 研究発表等（査読なしの論文等）

- 1) 工藤彰，佐々木敬志，厚井裕司，阿部昭博：観光支援のためのソーシャルゲームの開発と運用，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，4J-7, 2013. 3
- 2) 佐藤亮，市川尚，窪田諭，阿部昭博：野外美術館におけるゲーム要素を取り入れた鑑賞支援システムの開発，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，2ZG-2, 2013. 3.
- 3) 堀口祐耶，市川尚，窪田諭，阿部昭博：観光風評被害事例の分類・収集方法に関する考察，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-1, 2013. 3.
- 4) 河本祐弊，荻原勇一，市川尚，窪田諭，阿部昭博：音声合成を活用した観光ガイドシステムの開発と考察，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-2, 2013. 3.
- 5) 中村遥，阿部昭博，市川尚，窪田諭：総合野外博物館における見学ガイドシステムの開発，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-3, 2013. 3.
- 6) 菊池大士，窪田諭，市川尚，阿部昭博：観光ガイドシステムの利用データに基づく周遊行動の分析，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-4, 2013. 3.
- 7) 長岡順子，阿部昭博，市川尚，窪田諭：現地での利用を考慮した観光プラン立案支援システムの試作，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-5, 2013. 3.
- 8) 荻原勇一，河本祐弊，市川尚，窪田諭，阿部昭博：観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発と導入，情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集，3ZE-8, 2013. 3.

- 9) 深澤公哉, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 歩行時利用を考慮した3次元ユニバーサルデザインマップの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 4ZB-5, 2013. 3.
- 10) 大久保広之, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 道路維持管理におけるタブレット PC を用いた現場業務支援システムの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 5ZE-1, 2013. 3.
- 11) 坂本大介, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: オフラインでの利用を考慮した道路情報ポータルサイトの拡張, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 5ZE-2, 2013. 3.
- 12) 荻原勇一, 河本祐弊, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発, 情報処理学会研究報告, Vol. 2012-IS122, No. 1, pp. 1-8, 2012. 12.
- 13) 河本祐弊, 荻原勇一, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 観光ガイドシステムにおける音声合成の活用, 観光情報学会第6回研究発表会講演論文集, pp. 73-80, 2012. 12.
- 14) 坂本大介, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 道路維持管理の現場利用を考慮した台帳管理システムの開発, 地理情報システム学会講演論文集, Vol. 21, B-7-3, pp. 1-4, 2012. 10.
- 15) 深澤公哉, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 歩行時の利用を考慮した3次元ユニバーサルデザインマップの試作, 地理情報システム学会講演論文集, Vol. 21, D-7-1, pp. 1-4, 2012. 10.
- 16) 岡正彦, 狩野徹, 阿部昭博, 大西康弘, 佐藤貴行, 伊藤一彦, 小川哲平, 吉田雅俊: 視覚障害者等に対する音声ペンを活用した外出時の移動情報取得支援に関する研究～仙台市長町地区等における実証実験結果と今後の展開～, 日本福祉のまちづくり学会第15回全国大会概要集, P-18, 2012. 8
- 17) 佐藤貴行, 岡正彦, 狩野徹, 阿部昭博, 大西康弘: 視覚障害者等に対する音声ペンを活用した移動情報取得支援システムの研究開発, 第45回土木計画学研究発表会, 36b, 2012. 6
- 18) 工藤彰, 佐々木敬志, 厚井裕司, 阿部昭博: 位置情報連動型ソーシャルゲームを用いた観光支援の取り組み, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 18-19, 2012. 5
- 19) 窪田 諭, 佐藤遼二, 工藤竣輔, 市川尚, 阿部昭博: 自転車 GPS データによる観光サイクルマップの試作とその応用検討, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 34-35, 2012. 5.
- 20) 堀口祐耶, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 観光における風評被害事例ポータルサイトの試作と考察, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 14-15, 2012. 5.
- 21) 荻原勇一, 市川尚, 窪田諭, 狩野徹, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの設計, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 62-63, 2012. 5.
- 22) 河本祐弊, 市川尚, 窪田諭, 狩野徹, 阿部昭博: 観光情報システムにおける音声合成導入の検討, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 64-65, 2012. 5.

(e) 研究費の獲得

- 1) 全学研究費・iMos 研究「周遊行動データの分析可視化に基づく地域ツーリズム統合支援システムの研究」 117 万円 (代表)
- 2) 総務省 SCOPE「音声による移動情報取得支援システムの研究開発」 78 万円 (分担)

(f) その他総説・解説, 調査報告・市場調査, 特許, 受賞, 報道など

- 1) 阿部昭博: 平泉観光の新たな価値創造と情報の利活用ー大学地域連携の視点からー, 情報処理, Vol. 53, No. 11, pp. 1178-1183, 2012. 11
- 2) 阿部昭博: 平泉観光の新たな価値創造と情報の役割ー世界遺産登録記念シンポジウム報告, 観光情報学会誌「観光と情報」, Vol. 8, No. 1, pp. 67-74, 2012. 5
- 3) 大学案内 2012 年度版「研究事例紹介」

[大学運営]**(a) 全学委員会**

教務 FD 推進委員会，共通教育調整会議，特別な支援を必要とする学生のための連絡会議

(b) 学部/研究科の委員会

学部・研究科運営会議委員，学部教務委員長，資格審査委員

(c) 学生支援

該当なし

(d) その他

該当なし

[社会貢献]**(a) 国や地方自治体などにおける活動**

- 1) 東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会委員
- 2) 岩手県ひとにやさしいまちづくり審議会委員
- 3) 岩手県観光マネジメント人材育成セミナー実行委員会委員
- 4) ICT ふるさと復興支援協議会会長（事務局：滝沢村）
- 5) 花巻市産業支援アドバイザー

(b) 企業・団体などにおける活動

- 1) 山形観光アカデミー観光地域づくり人材育成講座「着地型観光における IT の活用動向」講師(2012. 11. 16)

(c) 一般教育

該当なし

(d) 産学連携

- 1) 視覚障害者等の移動情報取得支援システム（オリエンタルコンサルタンツ）

(e) 学会などにおける活動

- 1) 情報処理学会 2012 年度代表会員
- 2) 情報処理学会情報システムと社会環境研究会運営委員
- 3) 情報処理学会 IS 研究会「第 9 回 IS 論文執筆ワークショップ」講師(2013. 3. 17)
- 4) 情報処理学会論文誌特集号編集委員，シニア査読委員
- 5) 情報処理学会第 75 回全国大会座長
- 6) 地理情報システム学会東北支部長，論文誌査読
- 7) 観光情報学会いわて観光情報学研究会主査，第 9 回全国大会実行委員長

(f) その他

- 1) レンタルサイクルの動態管理に関する調査研究（盛岡ホテル協議会）
- 2) 平泉観光における情報の戦略的利活用に関する研究（平泉町観光商工課）
- 3) フィールドミュージアム支援システムへの助言（乃村工藝社）
- 4) 野外博物館の見学ガイドシステム調査研究（北上みちのく民俗村）
- 5) 鑑賞支援システムの活用促進に関する調査研究（岩手町立石神の丘美術館）

[主な業績]

阿部昭博：平泉観光の新たな価値創造と情報の利活用－大学地域連携の視点から－，情報処理，Vol. 53, No. 11, pp. 1178-1183, 2012. 11

本解説論文では，2011 年世界遺産登録を実現した岩手県平泉町での観光振興における情報の利活用について，筆者らの大学地域連携の取り組みを中心に論じた．まず，地域連携によるユニバーサルデザインに配慮した観光ガイドシステム開発運用を例に，参加型デザインアプローチによる観光客や住民の意見反映など，地域に根ざした観光情報システム開発の特徴や留意点について述べた．次に観光業を取り巻く近年の環境変化について概観し，これらに対応するための ICT による着地型観光振興策について示した．最後に，地域連携による観光情報研究の意義について言及した．

職名： 講師	氏名： 市川 尚
--------	----------

[教育活動]

(a) 学部担当授業科目

情報科教育法Ⅰ・Ⅱ，教育実習Ⅰ・Ⅱ，ソフトウェア演習 A/B/C，情報システム演習 A/B/C，情報システムゼミ A/B，卒業研究・制作 A/B

(b) 研究科担当授業科目

社会情報システム特論Ⅱ，ソフトウェア情報学ゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ，ソフトウェア情報学研究

(c) その他（教育内容・方法の工夫，作成した教材など）

授業改善 TF やリメディアル科目準備 TF など，学部のカリキュラム改訂やその一環として入学前教育（e ラーニング提供）の試行などに携わった。

[研究活動]

(a) 著書

- 1) 情報システムと社会環境研究会編：IS デジタル辞典～重要用語の基礎知識～，情報処理学会，担当：教育支援システム，2012. 4.

(b) 査読ありの論文誌に掲載された論文

該当なし

(c) (b) 以外の査読付き成果（論文誌ではない学術論文，国際会議プロシーディング，ワークショップ等）

該当なし

(d) 研究発表（査読なしの論文等）

- 1) 市川尚・鈴木克明（2012. 9）ID理論の学習スキルへの活用状況に関する一検討. 日本教育工学会第 28 回全国大会講演論文集：963-964
- 2) 市川尚・鈴木克明（2012. 8）認知的方略の学習を支援するドリル型教材シェルの設計. 日本教育メディア学会第 19 回年次大会発表論文集：77-78
- 3) 井ノ上憲司・市川尚・根本淳子・鈴木克明（2013. 3）ID 基礎力養成サイト構築に向けた ID ツールの分類. 日本教育工学会研究報告集，JSET13-1：191-194
- 4) 寺嶋浩介，市川尚，稲垣忠，鈴木克明（2012. 5）教職科目における「授業設計マニュアル」に基づいた指導上の課題の分析，日本教育工学会研究報告集，JSET12-2：25-28
- 5) 坂本大介，窪田諭，市川 尚，阿部昭博：道路維持管理の現場利用を考慮した台帳管理システムの開発，地理情報システム学会講演論文集，Vol. 21，B-7-3，pp. 1-4，2012. 10.
- 6) 深澤公哉，窪田諭，市川 尚，阿部昭博：歩行時の利用を考慮した 3 次元ユニバーサルデザインマップの試作，地理情報システム学会講演論文集，Vol. 21，D-7-1，pp. 1-4，2012. 10.
- 7) 荻原勇一，河本祐弊，市川尚，窪田諭，阿部昭博：観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発，情報処理学会研究報告，Vol. 2012-IS122，No. 1，pp. 1-8，2012. 12.
- 8) 河本祐弊，荻原勇一，市川尚，窪田諭，阿部昭博：観光ガイドシステムにおける音声合成の活用，観光情報学会第 6 回研究発表会講演論文集，pp. 73-80，2012. 12.
- 9) 堀口祐耶，市川尚，窪田諭，阿部昭博：観光における風評被害事例ポータルサイトの試作と考察，観光情報学会第 9 回全国大会発表概要集，pp. 14-15，2012. 5.

- 10) 荻原勇一, 市川尚, 窪田諭, 狩野徹, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの設計, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 62-63, 2012. 5.
- 11) 河本祐弊, 市川尚, 窪田諭, 狩野徹, 阿部昭博: 観光情報システムにおける音声合成導入の検討, 観光情報学会第9回全国大会発表概要集, pp. 64-65, 2012. 5.
- 12) 古水貴寛, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 高等学校におけるタブレット端末を用いた数学的活動を支援するシステムの試作, 教育システム情報学会学生研究発表会東北地区, 2013. 2
- 13) 佐藤亮, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 野外美術館におけるゲーム要素を取り入れた鑑賞支援システムの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 2ZG-2, 2013. 3.
- 14) 堀口祐耶, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 観光風評被害事例の分類・収集方法に関する考察, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-1, 2013. 3.
- 15) 河本祐弊, 荻原勇一, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 音声合成を活用した観光ガイドシステムの開発と考察, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-2, 2013. 3.
- 16) 中村遥, 阿部昭博, 市川尚, 窪田諭: 総合野外博物館における見学ガイドシステムの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-3, 2013. 3.
- 17) 菊池大士, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 観光ガイドシステムの利用データに基づく周遊行動の分析, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-4, 2013. 3.
- 18) 長岡順子, 阿部昭博, 市川尚, 窪田諭: 現地での利用を考慮した観光プラン立案支援システムの試作, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-5, 2013. 3.
- 19) 荻原勇一, 河本祐弊, 市川尚, 窪田諭, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発と導入, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 3ZE-8, 2013. 3.
- 20) 深澤公哉, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 歩行時利用を考慮した3次元ユニバーサルデザインマップの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 4ZB-5, 2013. 3.
- 21) 大久保広之, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: 道路維持管理におけるタブレット PC を用いた現場業務支援システムの開発, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 5ZE-1, 2013. 3.
- 22) 坂本大介, 窪田諭, 市川尚, 阿部昭博: オフラインでの利用を考慮した道路情報ポータルの拡張, 情報処理学会第75回全国大会講演論文集, 5ZE-2, 2013. 3.

(e) 研究費の獲得

- 1) 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)「認知的方略の学習を支援する教材シェルの開発」(課題番号: 22700817) 70 万円
- 2) 全学研究費・iMos 研究「周遊行動データの分析可視化に基づく地域ツーリズム統合支援システムの研究」(研究代表者: 阿部昭博), 117 万円(研究分担者)

(f) その他総説・解説, 調査報告・市場調査, 特許, 受賞, 報道など

該当なし

[大学運営]

(a) 全学委員会

A0 委員会

(b) 学部/研究科の委員会

就業力・リメディアル委員会, 研究科教務委員会

(c) 学生支援

該当なし

(d) その他

該当なし

[社会貢献]

(a) 国や地方自治体などにおける活動

該当なし

(b) 企業・団体などにおける活動

- 1) サイエнтиフィックシステム研究会教育環境分科会企画委員

(c) 一般教育

該当なし

(d) 産学連携

該当なし

(e) 学会などにおける活動

- 1) 観光情報学会いわて観光情報学研究会幹事、第9回全国大会実行委員会幹事
- 2) 日本教育メディア学会編集委員会委員・研究委員会委員
- 3) 2012年度教育システム情報学会学生研究発表会東北地区実行委員・審査委員
- 4) 論文査読（日本教育工学会、電子情報通信学会等）

(f) その他

- 1) 東北学院大学非常勤講師（教育方法）
- 2) タブレット端末を活用した数学科の授業実践に関わる高等学校教諭との共同研究（岩手高等学校）
- 3) エビデンスベース看護支援システムの構築と運用に関する共同研究（看護学部）
- 4) 平泉観光における情報の戦略的利活用に関する研究（平泉町観光商工課）
- 5) 鑑賞支援システムの活用に関する調査研究（岩手町立石神の丘美術館）

[主な業績]

・ユビキタス端末（特にタブレット端末）の授業への有効利用について，現場の学校教員と連携して研究を進めている．本年度は高等学校の数学教員と連携して，数学授業への導入を試行した．システムは，グループ作業を想定し，端末を道具として利用しながら，数学の問題解決を行っていくことを支援する．基本的には端末内のホワイトボードに生徒が思考過程を記述（外在化）していくが，背景にテンプレートを利用してもらうことで思考のヒント（足場がけ）となるようにした．ストーリーに沿って，教室の中ではなく外にでて学習を進めるものとし，学習意欲面の向上も期待した．改善の余地は多くあるが，教員にも好評であり，今後も発展させていく予定である．（関連研究：古水貴寛，市川尚，窪田諭，阿部昭博：高等学校におけるタブレット端末を用いた数学的活動を支援するシステムの試作，教育システム情報学会学生研究発表会東北地区，2013. 2）

・インストラクショナルデザイン（教授設計）理論が学習方略・スキルとして活用できるとの視点に立ち，教材シェルというシステムに着目して研究を進めている．教材シェルは，あらかじめアルゴリズムとして教授方略を組み込み，データとして知識（学習内容）を登録することで，効果的な学習環境の提供と教材開発の効率化を目指したシステムである．この教材シェルの枠組みは，同じ方略を利用した異なる多様な教材を提供することが可能であり，学習スキルの習得に役立つと考えている．（関連研究：市川尚・鈴木克明（2012. 8）認知的方略の学習を支援するドリル型教材シェルの設計．日本教育メディア学会第 19 回年次大会発表論文集：77-78 など）

職名： 講師	氏名： 窪田 諭
--------	----------

[教育活動]

(a) 学部担当授業科目

統計学，情報メディア入門，コンピュータ入門，ソフトウェア演習 A/B/C，情報システム演習 A/B/C，情報システムゼミ A/B，卒業研究・制作 A/B

(b) 研究科担当授業科目

情報システム企画・設計特論，ソフトウェア情報学ゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ，ソフトウェア情報学研究

(c) その他（教育内容・方法の工夫，作成した教材など）

該当なし

[研究活動]

(a) 著書

- 1) Kubota, S., Soga, K., Sasaki, Y., and Abe, A., Web GIS-Based Regional Social Networking Service as Participatory GIS, in Gaol, Ford Lumban (Ed.) Recent Progress in Data Engineering and Internet Technology Volume2 (Lecture Notes in Electrical Engineering, Vol. 157), pp. 313-321, 2012. 4.
- 2) 情報システムと社会環境研究会編：IS デジタル辞典～重要用語の基礎知識～，情報処理学会，担当：建設業の技術計算システム，建設業の積算システム，電子入札・調達システム，2012. 4.

(b) 査読ありの論文誌に掲載された論文

- 1) 窪田 諭，曾我和哉，佐々木雄喜，三浦友美，滝澤寛之，佐々木敬志，阿部昭博：住民参加型 GIS としての地域 SNS の開発と運用評価，地理情報システム学会論文集「GIS—理論と応用」，Vol. 20, No. 2, pp. 35-46, 2012. 12.
- 2) 田中成典，窪田 諭，北川悦司，物部寛太郎，中村健二：ISO10303 に準拠した汎用 3 次元 CAD エンジンの設計とその検証，土木学会論文集 F3（土木情報学），Vol. 68, No. 2, pp. II_43-II_50, 2013. 3.

(c) (b) 以外の査読付き成果（論文誌ではない学術論文，国際会議プロシーディング，ワークショップ等）

- 1) Kubota, S., Kitagawa, E., Monobe, K., Nakamura, K., and Tanaka, S., “A Three-Dimensional CAD Engine: Implementing Parametric Modeling,” Proceedings of the Eighth International Conference on Engineering Computational Technology, Civil-Comp Press, Paper 62, 2012. 9.
- 2) Kubota, S., Kitagawa, E., Monobe, K., Nakamura, K., and Tanaka, S., “A 3D CAD Engine with Data Models based on International Standards,” Proceedings of 12th International Conference on Construction Applications of Virtual Reality, pp. 399-406, 2012. 11.
- 3) Monobe, K., Kubota, S., Kitagawa, E., Nakamura, K., and Tanaka, S., “Fundamental Research concerning a Three-dimensional CAD Engine,” Proceedings of the Eighth International Conference on Engineering Computational Technology, Civil-Comp Press, Paper 63, 2012. 9.

(d) 研究発表（査読なしの論文等）

- 1) 窪田 諭，佐藤遼二，工藤竣輔，市川 尚，阿部昭博：自転車 GPS データによる観光サイクルマップの試作とその応用検討，観光情報学会第 9 回全国大会発表概要集，pp. 34-35, 2012. 5.
- 2) 田中成典，窪田 諭，北川悦司，物部寛太郎，中村健二：国際規格に準拠した汎用 3 次元 CAD エンジンの考察，土木情報学シンポジウム講演集，土木学会，Vol. 37, pp. 37-40, 2012. 9.
- 3) 坂本大介，窪田 諭，市川 尚，阿部昭博：道路維持管理の現場利用を考慮した台帳管理システムの開発，地理情報システム学会講演論文集，Vol. 21, B-7-3, pp. 1-4, 2012. 10.

- 4) 深澤公哉, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博: 歩行時の利用を考慮した 3 次元ユニバーサルデザインマップの試作, 地理情報システム学会講演論文集, Vol. 21, D-7-1, pp. 1-4, 2012. 10.
- 5) 荻原勇一, 河本祐弊, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発, 情報処理学会研究報告, Vol. 2012-IS122, No. 1, pp. 1-8, 2012. 12.
- 6) 河本祐弊, 荻原勇一, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 観光ガイドシステムにおける音声合成の活用, 観光情報学会第 6 回研究発表会講演論文集, pp. 73-80, 2012. 12.
- 7) 堀口祐耶, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 観光における風評被害事例ポータルサイトの試作と考察, 観光情報学会第 9 回全国大会発表概要集, pp. 14-15, 2012. 5.
- 8) 荻原勇一, 市川 尚, 窪田 諭, 狩野 徹, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの設計, 観光情報学会第 9 回全国大会発表概要集, pp. 62-63, 2012. 5.
- 9) 河本祐弊, 市川 尚, 窪田 諭, 狩野 徹, 阿部昭博: 観光情報システムにおける音声合成導入の検討, 観光情報学会第 9 回全国大会発表概要集, pp. 64-65, 2012. 5.
- 10) 佐藤亮, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 野外美術館におけるゲーム要素を取り入れた鑑賞支援システムの開発, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 2ZG-2, 2013. 3.
- 11) 堀口祐耶, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 観光風評被害事例の分類・収集方法に関する考察, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-1, 2013. 3.
- 12) 河本祐弊, 荻原勇一, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 音声合成を活用した観光ガイドシステムの開発と考察, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-2, 2013. 3.
- 13) 中村 遥, 阿部昭博, 市川 尚, 窪田 諭: 総合野外博物館における見学ガイドシステムの開発, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-3, 2013. 3.
- 14) 菊池大士, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博: 観光ガイドシステムの利用データに基づく周遊行動の分析, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-4, 2013. 3.
- 15) 長岡順子, 阿部昭博, 市川 尚, 窪田 諭: 現地での利用を考慮した観光プラン立案支援システムの試作, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-5, 2013. 3.
- 16) 荻原勇一, 河本祐弊, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博: 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発と導入, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 3ZE-8, 2013. 3.
- 17) 深澤公哉, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博: 歩行時利用を考慮した 3 次元ユニバーサルデザインマップの開発, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 4ZB-5, 2013. 3.
- 18) 大久保広之, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博: 道路維持管理におけるタブレット PC を用いた現場業務支援システムの開発, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 5ZE-1, 2013. 3.
- 19) 坂本大介, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博: オフラインでの利用を考慮した道路情報ポータルの拡張, 情報処理学会第 75 回全国大会講演論文集, 5ZE-2, 2013. 3.

(e) 研究費の獲得

- 1) 一般財団法人日本建設情報総合センター, 平成 24 年度研究助成, 災害時の利用を考慮した時空間概念に基づく道路維持管理支援システムの研究, 2,080,000 円, 2012. 8. ~2014. 8. (研究代表者)
- 2) 東京農業大学, 道路維持管理マネジメントシステム構築に関する研究, 720,000 円, 2012. 4. ~2013. 3. (受託研究費)
- 3) 国土交通省国土技術政策総合研究所委託研究, 道路情報基盤の構築に向けた道路基盤地図情報の整備・更新・活

用技術に係わる研究開発（研究代表者：東京大学 関本義秀），全体の内 500,000 円，2012. 5. ～2013. 2. （研究分担者）

- 4) 岩手県立大学，平成 25 年度科学研究費助成事業獲得支援費，地方都市道路における時間項を考慮した 3 次元情報の活用モデルの確立と適用，200,000 円
- 5) 岩手県立大学，若手ステップアップ研究費，地方道路における時空間概念に基づく 3 次元情報の活用モデルの構築と適用，250,000 円（2012. 9. ～2013. 3. ）
- 6) 岩手県立大学，いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター研究，周遊行動データの分析可視化に基づく地域ツーリズム統合支援システムの研究（研究代表者：阿部昭博），1,170,000 円，2012. 6. ～2013. 3. （研究分担者）

(f) その他総説・解説，調査報告・市場調査，特許，受賞，報道など

- 1) 「自治体向け SXF データ作成要領まとめ 小サイズデータ SXF も使用可」，2012. 6. 27. 建通新聞

[大学運営]

(a) 全学委員会

該当なし

(b) 学部/研究科の委員会

学生委員会副委員長，入試実施委員会，学部戦略会議，プロジェクト演習 TF

(c) 学生支援

該当なし

(d) その他

該当なし

[社会貢献]

(a) 国や地方自治体などにおける活動

- 1) 該当なし

(b) 企業・団体などにおける活動

- 1) 東京大学空間情報科学研究センター 客員研究員
- 2) 一般財団法人日本建設情報総合センター 社会基盤情報標準化委員会 CAD/データ連携小委員会 2 次元データ利活用 WG CAD 製図基準検討 SWG 座長
- 3) 一般財団法人日本建設情報総合センター 社会基盤情報標準化委員会 CAD/データ連携小委員会 委員
- 4) 一般財団法人日本建設情報総合センター 社会基盤情報標準化委員会 CAD/データ連携小委員会 2 次元データ利活用 WG 委員
- 5) 一般財団法人日本建設情報総合センター 社会基盤情報標準化委員会 CAD/データ連携小委員会 課題検討 WG 委員
- 6) 一般社団法人オープン CAD フォーマット評議会 OCF 検定監査委員会 委員長
- 7) 社会基盤情報流通推進協議会 賛助会員

(c) 一般教育

- 1) 関西大学カイザー・プロジェクト 特別セミナー「間項を考慮した 3 次元 CAD エンジンの開発に関する最終報告会」 3 次元 CAD エンジンに関する調査とその設計方針（2012. 12. 18. 関西大学東京センター）

- 2) 岩手県建設コンサルタント協会・岩手県地質調査業協会 主催, 平成 24 年度 第 1 回合同技術研修会「3 次元 CAD に関連する技術研修」, 3 次元 CAD エンジン開発「関西大学カイザー・プロジェクト」(2013. 3. 12. マリオス)

(d) 産学連携

- 1) 関西大学社会連携プロジェクト, 時間項を考慮した 3 次元 CAD エンジンの研究開発

(e) 学会などにおける活動

- 1) 地理情報システム学会東北支部事務局幹事
- 2) 観光情報学会いわて観光情報学研究会運営委員, 観光情報学会第 9 回全国大会実行委員会幹事
- 3) 土木学会論文集 査読 4 件
- 4) 土木学会第 37 回土木情報学シンポジウム座長 情報化施工セッション (2012. 9. 25 土木会館)
- 5) 情報処理学会第 75 回全国大会座長 DB の構築と利用セッション (2013. 3. 6 東北大学)

(f) その他

- 1) 道路維持管理システム調査研究 (岩手県県南広域振興局土木部遠野土木センター)
- 2) レンタルサイクルの動態管理に関する調査研究 (盛岡ホテル協議会)
- 3) アカデミック地域情報サポーターズクラブ (東京大学空間情報科学研究センター)
- 4) 岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科非常勤講師「情報処理演習 B」

[主な業績]

窪田 諭, 曾我和哉, 佐々木雄喜, 三浦友美, 滝澤寛之, 佐々木敬志, 阿部昭博: 住民参加型 GIS としての地域 SNS の開発と運用評価, 地理情報システム学会論文集「GIS—理論と応用」, Vol. 20, No. 2, pp. 35-46, 2012. 12.

本研究では, 住民参加型 GIS における住民参加活動や地域コミュニティ活動の現地での情報収集, 地図上での地域情報の可視化と共有のために, GIS 機能を強化した地域 SNS を開発し, 岩手県滝沢村で実運用した. システムでは, 利用者の行動エリアの考慮, GPS 携帯電話の利用, ポイント制の導入, 既存 GIS ソフトによる空間分析と地域 SNS による議論という方針を定め, 行動エリア, 位置情報投稿, GPS エリア参照, ポイントの各機能を PC 版と GPS 携帯電話版に実装した. また, 住民参加型 GIS としての地域 SNS を継続的に運営するための運用モデルを提案し実践した. 本システムは, 2008 年 11 月から 12 月まで, および 2009 年 12 月から 2010 年 1 月までの機能検証, そして 2009 年 10 月から滝沢村地域 SNS としての本運用を行った結果より, 住民参加型 GIS として活用できると考える.